

本人の趣味を利用したプログラムで改善を認めた症例

利用者情報 40 歳代 男性 グループホーム入所中

病名：頸椎椎間板ヘルニア
(2019.4.23 C5.6 固定術施行)
自閉症スペクトラム症候群、知的障害

バスや電車に関する
知識が豊富
時刻表を見ることに
興味あり!

介入初期：2019.12.5

施設内でも突進歩行様の歩行を認め、移動は車椅子使用

ADL ポータブルトイレ・介護ベッド・室内車椅子 FIM: 合計 90 点 (運動 67 点、認知 23 点)

| トイレ | 移乗 ベッド | 移乗 トイレ | 歩行 | 階段 |
|-----|-----------|-----------|----|----|
| 5 | 5 | 5 | 1 | 1 |

まずは、施設内での歩行獲得を
目的に介入!!

介入中期：2021.8.25

ADL 施設内は自立 FIM: 合計 106 点 (運動 83 点、認知 23 点)

| トイレ | 移乗 ベッド | 移乗 トイレ | 歩行 | 階段 |
|-----|-----------|-----------|----|----|
| 7 | 6 | 6 | 5 | 5 |

施設内での移動は自立で可能に!

新たな目標として

作業所までの移動を近位監視での歩行にしたい

歩行評価

| 歩行距離 | 持久力 | 躓き | 特徴 |
|------|------|-------------|--------------------|
| 500m | 15 分 | 100mに 1 回程度 | 注意散漫、突進歩行などスピード不安定 |

問題点：集中力が持続しない

身体機能は十分だが、自閉症の影響により注意散漫
リハビリ中にも 15 分以上の同一訓練を行うことができない

PT

連続歩行は 500m程度可能で集中力が続く間は躓きなどなく実施可能

OT

自身の興味のある内容であれば、集中力を持続させることが可能

自宅周囲（300～800mの範囲にバス停が点在しており、そこを目的地とすることで歩行の持続が可能に!!!



現在：2022.4.20

歩行評価

| 歩行距離 | 持久力 | 躓き | 特徴 |
|-------|-------|----|-------------------|
| 1.6km | 35分以上 | — | 転倒への意識向上、歩行スピード安定 |

経過

バス停をその都度変更することでリハビリに対しても意欲的に取り組むことが可能に。当初の目的の近位監視での歩行は獲得できていないが、誰が介助しても軽介助での屋外移動が可能となった。



【まとめ】

身体機能低下と認知機能低下を認め移動能力の向上に難渋した症例。
作業療法士との連携により、認知機能面への配慮を行えたことでADLの向上に繋がったと考える。
今後も、趣味を活用しつつ、社会参加の増加を目指していく。



ホームページは
こちら

イメージキャラクター
ウータンちゃん

